

# たいない、議会だより

No.53

平成29年12月28日

(2017年)

【題字】ほんだ まな 本田 真菜さん



夏井在住の坂上<sup>さかうえ</sup>さんファミリー

左から 琴(こと)さん小6、徳(なる)さん小4、憧(しゅう)さん小2

## 主な内容

一般質問(9人)	2~11ページ
決算審査特別委員会	12~14ページ
平成29年第3回定例会の議決結果	15ページ
常任委員会審査	16~17ページ
行政視察報告・閉会中調査報告	18~19ページ

# 新市長に問う



高橋 晃 新副市長



井畑 明彦 新市長

第3回定例会は、10月17日から11月9日までの24日間で開催されました。9人の議員が一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。

## 一般質問 9人の議員が登場

### 副市長に 前総務課長

#### 一般質問事項

##### 桐生清太郎 議員

- ・市政運営について
- ・産業振興の推進を進め、未来を担う若者に希望の持てる施策の構築を
- ・高齢者が共に集える胎内市について
- ・観光振興の取り組みについて

##### 渡辺秀敏 議員

- ・新体制になったことに伴い、市役所内の意識改革と人づくりについて
- ・ボランティアの実効性の確保について
- ・指定管理や業務委託におけるサービスの向上について

##### 羽田野孝子 議員

- ・健康寿命を延ばすための対策について

##### 渡辺栄六 議員

- ・障がい者が住み良いまちにするために
- ・防災力強化のために
- ・子育て支援の充実について

##### 渡辺宏行 議員

- ・再生可能エネルギーの取り組みについて
- ・市民協働のまちづくりについて

##### 渡辺 俊 議員

- ・所信表明等について
- ・市長選挙等について

##### 薄田 智 議員

- ・市長の政治姿勢について
- ・公営住宅の課題と若者の定住促進について
- ・生涯学習センター構想について

##### 丸山孝博 議員

- ・市長の所信表明について
- ・市長の政治姿勢について

##### 佐藤武志 議員

- ・保育園の保育について
- ・小学校の授業について
- ・放し飼い猫・野良猫について
- ・総合計画関連について
- ・報酬について

※質問事項は通告書に基づき記載しています。





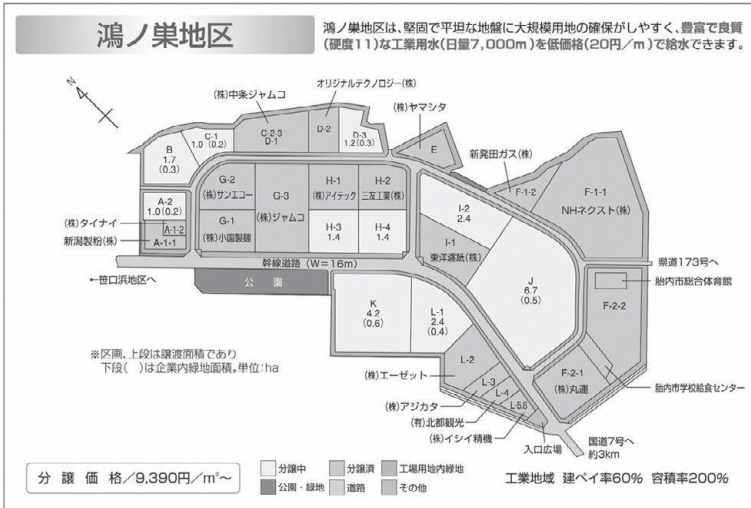


桐生 清太郎 議員

# 市政運営について

**議員** 地方自治体では二元代表制の下、市長と議会の公正公明な行政運営が求められているが、市長の見解を伺う。

**市長** 議会とは良好な関係を構築し対等な緊張関係を持ち、切磋琢磨し積極的に役割を果たし市政運営に当たりたい。



新潟中条中核工業団地

## 若者に希望の持てる 施策の構築を

**議員** 若い人たちが希望を持って働き暮らせる環境づくりが必要であるが、産業振興、雇用環境づくりについて伺う。

**市長** 現在胎内市には事業全体の約9割を占める中小企業、小規模企業が存在し、地域経済で重要な役割を担っている。さらに基幹産業の一つである農業振興は地域の産業として、農協その他の関係者と意見交換をしながら支援できる部分、連携できる部分に努め、そうした状況の中で、中小企業等の振興を図るため、さまざまな立場の関係者と話し合い、市としての方向性を改めて検討し、合意形成を経て振興に係る基本計画を策定し、望ましい方向付けを行っていきたい。その上で将来、市内経済を牽引するような魅力ある企業を支え、そうした企業が着実に成長し、発展していくことで若い人たちが意欲をもって働く雇用環境の充実につながる、夢と希望を持って暮らせる環境づくりに寄与するものと考えている。

## 観光振興の 取り組み

**議員** 胎内の活力、魅力を高める観光振興策を。

**市長** 胎内市の多種多様な魅力的な観光資源を有機的につなぎ、周遊ルートの開拓など市民とともに考え、体験型着地型観光の企画など町ぐるみで観光を推進し、さらに広域的な観光推進の観点から新発田、胎内、聖籠町定住自立圏共生ビジョンによる広域的な観光ルートを形成し、圏域全体での誘客促進に取り組んでいきたいと考えている。



樽ヶ橋遊園の大型複合遊具

**【その他の質問】**  
・高齢者が共に集える胎内市について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



渡辺 秀敏 議員

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

### 新体制下での市役所内の意識改革と

#### 人づくりについて

**議員** 各課の窓口が現在の配置では、尋ねて来た人に気づかない場合がある。前を向いた状態での受付窓口があればスムーズにいくのではないか。

を育成し、将来的に登用していく。

**市長** 機の配置を工夫するなど、市民の立場に立って考えていきたいと思っている。

**議員** 第2次総合計画の基本理念でも「自然が活きる、人が輝く、交流のまち胎内」を掲げている。その基本となるのは挨拶であり、市役所内から発信していくのがベストである。訪れた市民に対する挨拶等、接遇面の強化について。

**議員** 子育てや教育をはじめ、他の分野でも女性の視点は非常に有効である。現在女性課長は1名であるが、今後の女性幹部登用の計画・目標は。

**市長** これまでも接遇研修やクレーム対応研修を実施している。先般課長会議でもこのことを全職員に徹底するように伝えたところである。接遇意識の改革には組織全体で取り組んでいく。

**市長** 女性職員が活躍していくことは市政発展のためには欠かせないことと認識している。中長期的な視点に立って管理職員としての女性職員



#### ボランティアの実効性の確保について

**議員** まちづくりにおいてボランティアは非常に重要な役割を果たしている。その実効性を確保するためにはボランティアの自主性を尊重しながら、行政としても積極的にバックアップしていくことが必要と考える。今後の取り組みについて伺う。

**市長** 市民協働のまちづくりを推進していくうえでも、ボランティアや地域の皆様との対話が重要である。支えあいの輪を拡大しながら市全体の活性化を図っていく。ボランティア・アスタンプ事業なども活用しながら裾野を広げていく。

#### 指定管理や業務委託におけるサービスの向上について

**議員** 指定管理や業務委託において、利用者の満足を図っていくためには業者に対する指導等も含め、市の積極的な関与が求められると思うが、今後の取り組みについて伺う。

**市長** 当該施設の利用者満足度については、所管課において適宜把握している。今後統一した評価マニュアルを整備し、利用者の声も含めたモニタリングを実施していく。



胎内市のボランティアスタンプカード



羽田野孝子 議員

# 健康寿命を延ばすための 対策について

**議員** ぶれすほ胎内のトレーニングルームの平成28年5月から29年9月までの60歳以上の月別利用者数と体づくりの個人指導が受けられる体制整備について伺う。

**教育長** 60歳以上の月別利用者数は、昨年の5月14日のオープンから本年9月末までの総利用者数は2万805人で、60歳以上は5千34人、24%である。

9月の実績で利用者総数は前年比58%の増、60歳以上は33%の増となっている。今後、市民ニーズを把握し、初心者を対象としたトレーニングメニュー相談会を開催する等努めていく。



ぶれすほ胎内 トレーニングルーム

**議員** 聖籠町のトレーニングルームでは、初心者に丁寧に対応している。初心者向けの相談ができる曜日を決めて始めるべきでは。

**教育長** 初心者に丁寧に対応できるようにしていきたい。初心者メニューについても検討したい。

**議員** 「ほっとHOT・中条」に自動血圧計が以前は設置されていたが現在は無い。設置すべきでは。

**市長** 以前設置していたが、血圧を不安に思う方には保健師が面談の上で測定してアドバイスをを行うことにしていたことから、2年前に機器が故障した後は設置していない。

しかし、設置することで市民が自ら健康状態を把握し、健康管理に努める一助になることから、設置に向けて準備を進めている。



設置が望まれる自動血圧計

**議員** 旧小学校区単位で好きな娯楽を楽しんだり、寝転がって運動できる「地域の茶の間」の立ち上げの話し合いの場を設けることについて伺う。

**市長** 旧小学校区単位よりも身近な公会堂等の歩いて行ける範囲で、気軽に集える居場所づくりを推進することが望ましいと考えている。「地域の茶の間」での活動の充実を図っていきけるよう働きかけていく。



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



渡辺 栄六 議員

### 障がい者が 住みよいまちにするために

**議員** 障がい者が入所できるグループホーム不足や重度障がい者向けの支援施設の整備は。

**市長** 障がいのある方とその家族のニーズを的確に把握し、関係する法人等に施設整備していただけるように働きかけていく。

**議員** 障がい者が共生できるための自立支援の取り組みと、市営住宅入居への配慮は。

**市長** 医療費の助成や各種手当等の支給による負担の軽減、相談支援等している。また、市営住宅入居への配慮については同居親族や所得要件について緩和できる範囲で、より入居しやすい制度運用を行っていく。

### 防災力強化の ために

**議員** 胎内川の黒川橋付近には多くの雑木が茂っている。集中豪雨等で、流木や瓦礫が川をせきとめ、決壊する原因となるが、現状の認識と対策は。

**市長** 河川を管理する県に対し、随時状況を連絡し伐木、河床掘削や護岸補修などを要望し、早急の改善を求めている。

**議員** ほっとHOT・中条は大災害時の重要拠点として想定されるが、駐車スペースが少なく、胎内小学校側から通じる道路が狭い。駐車

場整備と道路拡幅計画は。

**市長** 駐車場整備や施設に通じる道路の拡幅計画は今のところないが、中条中央病院との連携、協力のもとで駐車場の確保に努め、施設での事業の進め方を工夫し対応をしていく。



雑木が大きく茂っている黒川橋

### 子育て支援の 充実について

**議員** こどものことごとことばの相談室は昨年度まで担当保育士が2人体制だったが、専門知識や経験が豊富だった保育士1人が保育園へ異動となり、本年度は1人となったが十分な相談対応がとれているか。

**市長** 相談を希望される方にご迷惑をおかけしているところもあるので適任となる人材の確保に努めているほか、来年度からは補充すべく準備し対応していく。

**議員** 西条地区には子どもたちが自由にのびのびと遊べる場が少ないが、本条幼稚園跡地などを活用した遊び場の確保はできないか。

**市長** 旧本条幼稚園については取り壊す方針を決定した。その後の活用について地域の皆様と協議し、子どもたちの遊び場確保にもつなげていきたい。



旧本条幼稚園



渡辺 宏行 議員

### バイオマスタウン構想・洋上風力発電事業 今後の取り組みの考えは

**議員** バイオマスタウン構想の現状と今後の取り組みの考えは。

**市長** この構想は処理から活用へという発想のもと、市内に存する豊富なバイオマスを肥料など社会的に有益な製品やエネルギーに変換することによって資源循環型の地域社会の構築を推進するものである。  
市では、鋭意実用化のための技術的実証を積み重ねてきたが、事業主体となる予定だった民間事業者が、資金面等の理由により実用化を断念したことにより現在に至っている。  
今後のバイオマス活用については、前向きで責任ある事業所から相談があった場合、門戸を開き協議、協力する姿勢で臨んでいく。

**議員** 社会保障の財源確保のために洋上風力発電事業を推進するとのことだが、事業の方向性に対する決断の時期は。

**市長** この事業の方向性に対する決断の条件は、①海域における自然環境に関する条件、②一般海域における管理権や転用に関する法律や条例の整備に関する条件、③事業関係者を含めた利害関係者や市民とのコンセンサスが得られるかであり、この諸条件が整った時には、議会に諮り決断したい。  
洋上風力発電事業は、胎内市の将来を見据えた中で、非常に重要で特別な事業である。  
今後、市役所内にプロジェクト



洋上風力発電イメージ図

チームを立ち上げ、機を逃すことなく勉強と検討を進めていく。

### 市民協働の まちづくり

**議員** 市民を主体とした自治運営を図るために市民参加条例を制定する考えはないか。

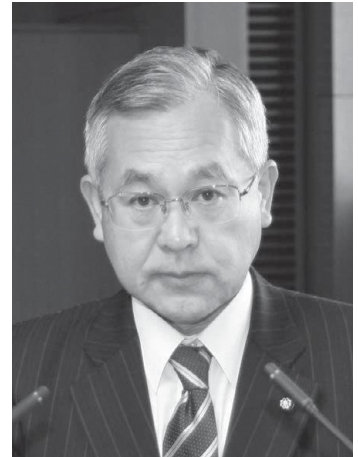
**市長** 市民協働のまちづくりを強く推進していく中で、市民と行政が対話や行動を重ねながら議論を深め進化していく過程において、枠組みや約束事を定めた方が有益であるという必要性が出てきた段階で、条例等の制定を視野に入れていく。

**議員** 地区の抱える課題や地区の活性化を目指した「まちづくり協議会」を学区ごとに設置する考えは。  
**市長** 協議会の設置は、行政主導型によるものでなく、必要性を感じた地域が機運の高まりにより、自発的な設置に至ることが理想である。  
まずは対話による問題、課題の洗い出しを行いながら、協議会の設置を見極めていく。

**議員** 市政運営について幅広い層から意見を聞く、タウンミーティングを開催する考えは。

**市長** タウンミーティングは、協働の入り口として、また協働を継続、発展させていくためにも非常に有効な手段であり、実施に向けて鋭意取り組みたいと考えている。  
なお、開催に当たっては充実した内容となるよう、話し合うテーマやその対象などについて、十分吟味し実りあるものにしていく。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



渡辺 俊 議員

# 市長選挙について

**議員** 市を二分した選挙について、対立候補を応援した市民の方々の思いをどう受け止め、今回棄権した多くの方々にどのように呼びかけて、どのようにしてまとめ、市政を進めていくか。

**市長** この度の選挙において多くの市民の皆様からご信任をいただいたことを真摯にありがたく受け止め、負託と期待に応えていくことを第一義に考えていくべきと思っております。

その一方で、対立候補を応援された方や棄権された市民の方々もいらっしゃるが、大事なことはその方々の思い、考えを決して否定的に捉えることではなく、胎内市が持続

的に繁栄していくために市民との協働によるまちづくりが必要で、一人一人の意見に耳を傾け、少数意見も大切にしながら市政運営を行っていくことに尽きると思っている。

分析というか、それぞれの方の投票行動、そういったことは何を思い投票されたか、だれが例えば棄権されたかも含めてということになるが、そういうことはそもそも私が分析したり、憶測で考えてばかりいてもいけないわけで、何よりもこれから先、皆さんと共通の思いで一人一人の意見、思いも大切にしていくということに尽きるという考えである。

それらを踏まえ、これから未来志

向で市民の皆様が、さまざまな場面で市政に参画できるということ、各方面からご意見を頂戴し、望ましい形、仕組みを整えていくということとであろうと思う。



**議員** 就任後、国や県、市民や関係団体と鋭意意見交換しているが、新たな克服すべき課題が出てきているか。

**市長** 現時点においては、具体的に特定された項目があらわれてきて、課題として浮上しているということとはそれほど明確に感じていない。

しかしながら、国に関しても衆議院議員選挙が終了し、政権与党がど

のような国政運営をしていくかにより、県及び市町村に影響を与える場合もあろうかと思うので、今後、地方に対しての対応など見定めていきたいと考えている。

また、県や関係団体については、連携を十分に密にし、良い関係を構築しながら課題等に対応していかねばならないと思っているし、私自身が職員時代と比べ市長でなければできないことがある、市長だからこそできることがある、そういうふうにいる定め、取り組んでいく中では、かつて想定しなかった、あるいは思っていなかった、考えていなかった様々な課題、それから政策、その他付随する問題等が出てくるのかもしれない。

しかし、そこはしっかりと自ら考え、皆様のご意見等も聞きながらしっかりと取り組む以外にないし、そもそも市長に立候補するということはそういうことであろうと思っ立候補したわけで、覚悟すべきはしっかりと覚悟を持って望んでいきたいと思う。

## 【その他の質問】

・所信表明について





薄田 智 議員

### トピックス トピックスリーダーとして、これからのまちづくりの 決意と今任期4年間の政策は

**議員** 胎内市の2代目市長としてこれからの胎内市を引っ張っていくわけだが、少子高齢化・人口減少問題など大きな課題がある。今任期4年間の具体的な政策は。

**市長** 第2次総合計画を基軸に、市民協働で、子育てや教育環境への支援、雇用環境の充足など多岐にわたることを総合的にやっていく。とりわけ若い世代の人たちがこの地に定住すること、その先に結婚、出産、子育てに夢や希望が持てるようなまちづくりを行っていくことで初めて実を結ぶと考える。

**議員** どのように市民協働の仕組み作りをしていくのか。

**市長** 条例であったり、その他の制度をいずれかの段階で作っていくことになるだろうが、市民の話をよく聞き、私の思いも伝え、枠組みやルール、仕組みを作っていきたい。

**議員** 本市には審議会が数多くあるが、その中身を整理し、審議委員の役割、権限、責任を明確にしていかないと市民協働は成功しないのではないかと。

**市長** 現在、市内の審議会等の数は100までではないと思うが、中身を洗い直すと同時に、新たな市民との対話の場を確保していくことが重要になってくると考える。



公営住宅

### 公営住宅の課題と 若者の定住促進について

**議員** 現在、市内の公営住宅は500戸もあるが、ほぼ満室状態。今の公営住宅の所管は地域整備課であるが、住宅環境問題は民生生活課、障害者や生活困窮者は健康福祉課、空き家問題や住宅制度は総合政策課であり、本市の住宅関係にはいろいろな課題や問題が多岐にわたる。将来の制度づくりも含めて専門で独立した住宅課という組織が必要ではないか。

**市長** そういった課の設置は、否定ではないが、胎内市の望ましい組織機構のあり方について、今後、内部で検討していく。

### 生涯学習センター 構想について

**議員** 市長の所信表明において一番の基本方針に「まちづくりは人づくり」であり、子育て支援と教育を充実させ、未来を支える人材を育成させたいとの強い思いだ。私も同感であり、大勢の市民から生涯学習センターの早期着工と完成が期待されているが、今後の計画と取り組みは。

**市長** 教育委員会とも連携した中で、今年中に庁内検討組織を立ち上げ検討を進める。その後、市民や有識者の参画を得て施設整備に係る検討委員会を設置し、市民ニーズに十分応え得る形で方向性を見定める。



現在の胎内市図書館

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。



丸山 孝博 議員

## 市長の所信表明と政治姿勢について

**議員** 合併して12年、今後の市政運営は人口減少問題や自主財源の確保という課題の一方、地域の活性化や福祉の充実などが求められる。市長は、所信表明で「未来への投資」として、「これからの胎内市を支える魅力的な人材、雇用の確保、情報や魅力の発信」としているが、一方で交付税等の歳入減少のなか、来年度予算編成にあたり、市長選での公約をどう反映するのか。

**市長** 現時点で12億円の財源不足が見込まれる厳しい状況のなかでの予算編成である。そのため選択と集中を基軸とし、人づくりとなる子育て支援や教育などの未来へ投資となる分野に十分配慮する。また、タウン

ミーティング等に係る予算を盛り込みたい。

**議員** タウンミーティングは、どのような方法で実施するのか。

**市長** まだ漫然としているが、関係する課単位でたたき台ができた段階で具体的になりたい。

**議員** 市長自ら、SNSを活用し情報発信すべきではないか。

**市長** 総論として反対するものではない。下地が整った段階でやるべきはやると考えている。

**議員** 「市民との協働」として、「重要な施策や事業は、市民に公開し、市民とともに考え市民との協働によるまちづくりを推進する」としているが大いに期待したい。これからの

胎内市の進むべき方向について、市民との対話が根底になればならないが、情報公開も含めどのような手法で取り組むのか。



市長室

**市長** お互いが情報を共有し、市民と行政が積極的な対話による意見交換、それを下地として協働へ進んでいく。

**議員** 協働のまちづくりを目指すうえで、基本理念を明確にし、市民の主体的な取り組みを尊重するとした条例を制定すべきでは。

**市長** 必要性が明確になった段階で制定を視野に入れていきたい。

## 市長の政治姿勢について

**議員** 憲法遵守の立場で、9条改憲に反対すべきだ。

**市長** 世界に誇るべき平和憲法に異を唱えるものではないが、しっかりと議論を行うべきである。

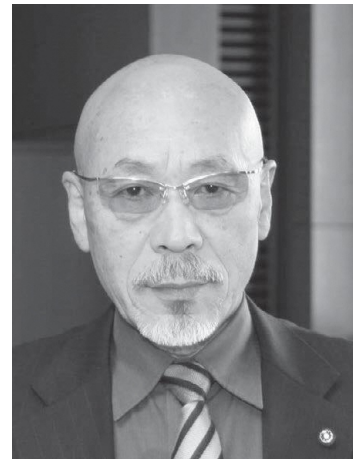
**議員** 核のゴミは受け入れるべきでない。

**市長** 基本的に受け入れをしない方針で臨みたい。



非核平和都市宣言塔





佐藤 武志 議員

### 市長報酬削減・市長公用車利用について

**議員** 前吉田市長は、市長報酬を15万円削減していたが、現市長は報酬削減についてどのように考えているのか。

**市長** 市長報酬については、特別職の条例に定められており、減額期限が就任前の29年10月1日に終了していたのでこの件に関して関与できない。

市長報酬削減については、特別報酬審議会の意見を聞くことになっており、できれば、今年中に審議会に答申を投げかけ判断したい。

**議員** 市長自身の気持ちとしては、削減したいお気持ちはあるのか。

**市長** 一生懸命職務に精励したい。また、忌憚のないところで審議会の

皆さまのご意向に沿いたい。

**議員** 市長公用車に奥様と利用されていましたが、家族などの市長公用車利用については、御遠慮いただくことが出来ないものかについて伺う。

**市長** 市長公用車使用については、公務で市長の妻として同行の際に同乗したものである。何かに抵触するものではないが、一定の配慮はさせて頂く。

### 保育園の保育について

**議員** 胎内市では、年齢別保育が統

一されていたが、私立ひだまり保育園で、地区別の縦割り保育が行われている。今後の胎内市の保育については、二通りの保育が行われていくのか伺う。

**市長** 現在、私立きすげ保育園で縦割り保育が実施されており、本年度は、3歳児のみであったことから縦割り保育は行っていない。

ひだまり保育園においては、昨年度から保育を開始したところである。保育については、それぞれの運営方針に委ねられているが、地域において異なったものを推奨するとか、そういった意図はない。市として、意見交換や現地調査などを行い、保護者の安心や園児のことを、きちんと捉えながら対応する。



**議員** パンツにウンチを付けたまま帰ってくる人が多いとか、ウンチのついたパンツをそのまま袋に入れて、カバンに入れて返すと聞いている。園児は、上手に出来ないことがあり、そのフォローすらできない状

況は、保育としてあり得ることなのか。

**市長** この問題は、縦割り云々の問題ではなく、本来ある保育を行う保育士の不足なのか、あるいは、保育士の質として、その資質が備わっているのか問題を聞いて感じる。今後、精査し結果改善を図られるよう対処する。

### 小学校の授業について

**議員** 市内の小学校低学年教室において授業中が騒がしく、正常な授業が行われない日々が続いていると保護者から聞いているが現状を含め、今後の対応について伺う。

**市長** 学習規律が定着しなかったり、授業に集中できない状況がある。今後、保護者の協力のもと、複数の教員によるチームティーチングの授業形態で実施し、改善に向け全校体制で取り組んで行く。

### 【その他の質問】

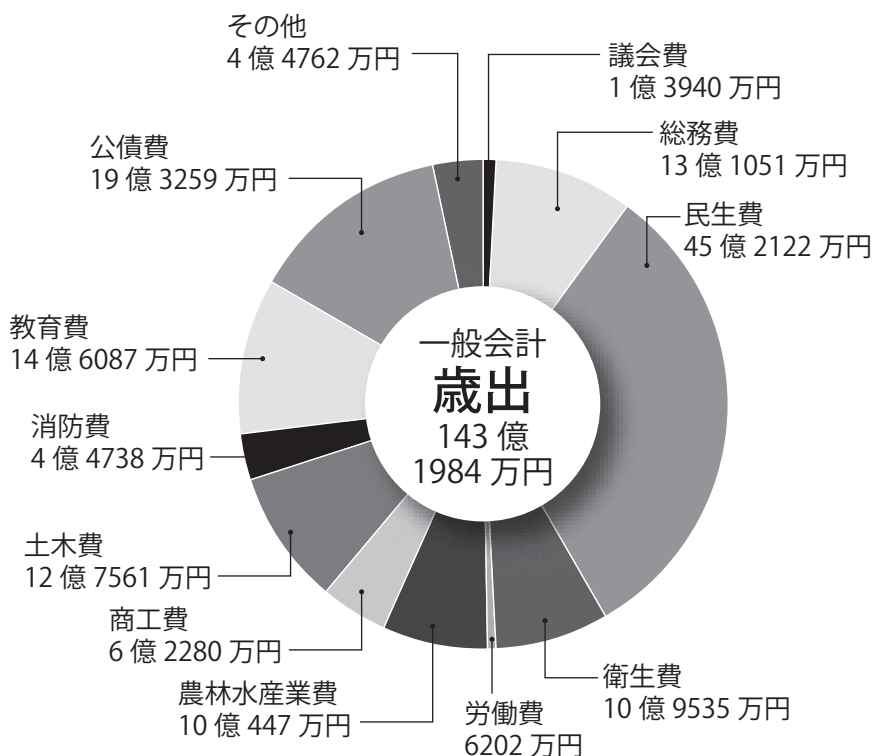
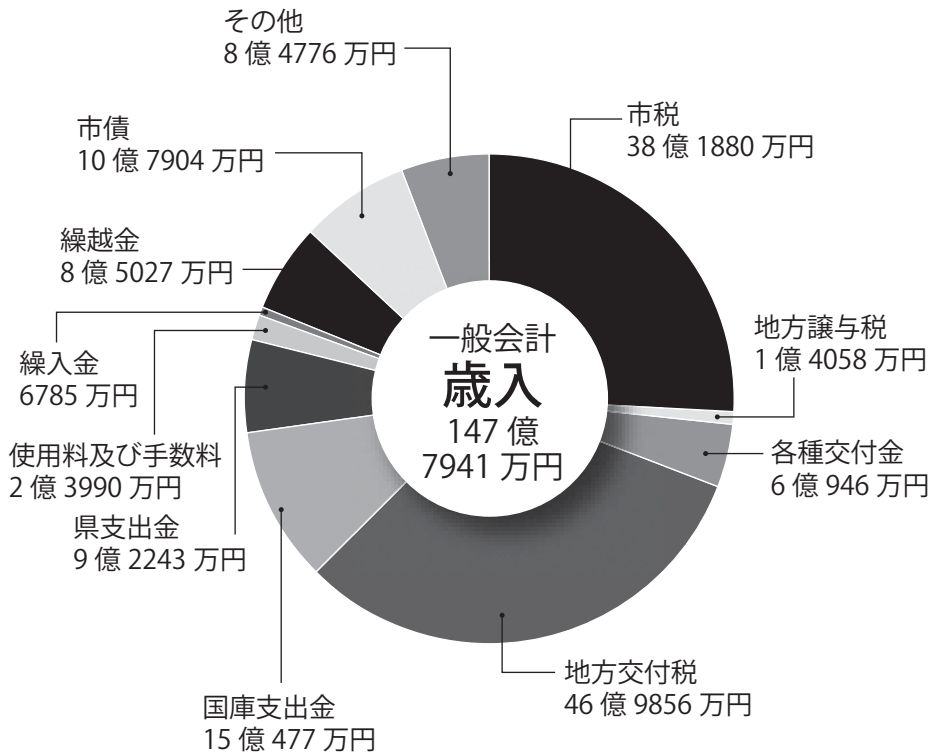
- ・ 放し飼い猫・野良猫について
- ・ 総合計画関連について

質問・答弁の内容、文体は本人の草稿によるものです。

# 決算審査特別委員会

第3回定例会には、平成28年度一般会計・特別会計・企業会計までの13会計の決算認定議案が提出されました。一般会計の決算収支状況は、歳入総額147億7940万6千円（前年比：▲12.7%）、歳出総額143億1984万1千円（前年比：▲10.9%）でありました。

## 平成28年度 一般会計決算



※各項目で四捨五入のため、合計が合わない場合があります。



◎各会計の決算状況と採決の結果

会 計		歳 入	歳 出	採決結果
一般会計		147 億 7941 万円	143 億 1984 万円	認定
特別会計	国民健康保険事業	37 億 4485 万円	37 億 2489 万円	認定
	後期高齢者医療	2 億 5183 万円	2 億 5174 万円	認定
	介護保険事業	33 億 8972 万円	32 億 3323 万円	認定
	黒川診療所運営事業	1 億 1167 万円	1 億 1162 万円	認定
	農業集落排水事業	6 億 9500 万円	6 億 6779 万円	認定
	簡易水道事業	1 億 7749 万円	1 億 4987 万円	認定
	観光事業	1 億 5620 万円	1 億 5620 万円	認定
	地域産業振興事業	3 億 6069 万円	3 億 6050 万円	認定
	鹿ノ俣発電所運営事業	1 億 6186 万円	1 億 4648 万円	認定
	計	90 億 4931 万円	88 億 232 万円	
企業会計	公共下水道事業	11 億 327 万円	9 億 6819 万円	認定
	水道事業	7 億 1720 万円	5 億 8945 万円	認定
	工業用水道事業	771 万円	777 万円	認定
	計	18 億 2818 万円	15 億 6541 万円	
合 計		256 億 5690 万円	246 億 8757 万円	
前 年 比		92.64%	93.67%	

※企業会計は、収益的収支（営業に関わる活動）を記載しています。

※1万円未満は、四捨五入のため、合計が合わない場合があります。

平成28年度の各会計決算認定は、議長と議会選出監査委員を除く16人で構成する決算審査特別委員会での審査に付託され、2日間にわたり慎重に審議しました。主な質疑を紹介します。

一般会計

**質問** これまで市で行ってきたふるさと納税業務を円滑に進めるため業務委託にしたが、前年度と比べてどのように変化したのか伺う。

**答弁** 平成27年度のふるさと納税額は、425万8千円の寄付を頂いたのに対し、平成28年度は、8千567万6千円であり、約20倍に増えた。件数については、平成27年度は355件、平成28年度は3千284件であった。平成28年度から、インターネットを活用することにより、大きな成果が得られた。

**質問** デマンドタクシー運行の予算は、平成27年度に比べて200万円増額しているが、利用者は若干減っている。その状況をどう検証しているか。

**答弁** 経費200万円の増額については、国からの補助金が減ったことにより、市の支出が増えた。利用者数は、延べ人数で平成27年度は5万7千434人、平成28年度は

5万5千279人で2千155人の減少でした。若い方から「デマンドタクシーはお年寄りの乗り物だと思っていた」という感想も寄せられたので、幅広い年代でご利用いただけるよう今後もPRに取り組んでいく。

**質問** 高齢者の免許返納者の人数と その場合、どのような補助をしているか。

**答弁** 平成26年度は65人、平成27年度は59人、平成28年度は69人であった。補助内容として、デマンドタクシー券を6千円分（22回利用）補助しており、70歳以上の方を対象としている。



のれんす号

民生費

質問 健康母子手当が、予算に対し、決算額が少なかったが、その理由を伺う。

答弁 健康母子手当は、3人目以上を出産した母親に対して補助するものであり、3人目の方に10万円、4人以上の方に15万円を補助するものである。3人目が13人、4人目以上は6人該当者があった。3人目以上を出産する方が少なく、支出も伸びなかった。

衛生費

質問 特定不妊治療費助成の申請件数と出産された人数について伺う。

答弁 平成28年度は、21件申請があった。そのうち出産されたのは、4件である。

質問 一般家庭や企業などから排出されるゴミの数量の推移はどのようになっているか。

答弁 家庭から出される家庭系のゴミ排出量は、平成26年度は7千806トン、平成27年度は7千782トン、平成28年度は7千507トンであった。企業から出される事業系のゴミの排出量は、平成26年度は3千761トン、平成

27年度は3千707トン、平成28年度は3千751トンだったが、事業系からは特に紙類が多く排出されるので、再資源化を強く徹底していきたい。



ごみ焼却場

商工費

質問 プレミアム商品券について、昨年、買いに行ったが購入できなかったという話を多く聞いたが、どのように考えているか。

答弁 買いたくても買えなかったという状況をふまえ、皆さんが平等に買えるよう今年度は早いもの頃から、抽選方式に変更して販売した。

消防費

質問 当市の自主防災組織の組織率について伺う。

答弁 平成28年度末時点で、96組織82%となっている。

質問 96組織の内、実際に避難訓練など行っている数は。

答弁 訓練等を実施する際、事前に市へお手伝い等の依頼があった件数は、43箇所であった。



自主防災訓練

特別会計

質問 介護サービス給付費が前年度に比べ、不用額が約2億円増えているが、その理由は。

答弁 要介護の認定数や介護の保険給付費等が、当初見込んだ計画より少なく抑えられた。その理由として、介護予防の効果が出てきていると感じている。





# 平成29年第3回定例会議決結果

第3回定例会は、10月17日から11月9日までの24日間にわたって開催されました。市長提出議案については、専決処分の承認2件、補正予算10件、条例の一部改正5件、決算の認定13件、人事案件8件、その他2件が審議されました。議員提出議案では、意見書4件が審議され、次のとおり議決されました。また、選挙管理委員及び選挙管理委員補充員も選出されました。

## 全会一致で可決（承認・同意・適任）された議案

### <平成29年度補正予算>

- ・一般会計補正予算（第3号）【専決】
- ・一般会計補正予算（第4号）
- ・国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ・介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- ・黒川診療所運営事業特別会計補正予算（第2号）
- ・農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
- ・簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- ・地域産業振興事業特別会計補正予算（第1号）
- ・鹿ノ保発電所運営事業特別会計補正予算（第1号）
- ・水道事業会計補正予算（第2号）

### <条例の一部改正>

- ・胎内市議会議員及び胎内市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例【専決】
- ・胎内市総合計画策定審議会条例の一部を改正する条例
- ・胎内市介護保険条例の一部を改正する条例
- ・胎内市就業改善センター条例及び胎内市農村地域工業導入対策審議会条例の一部を改正する条例
- ・胎内市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例
- ・胎内市地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準を定める条例の一部を改正する条例

### <人事案件>

- ・教育委員会委員の任命【藤木國裕氏】
- ・固定資産評価審査委員会委員の選任【芦田恵子氏】
- ・固定資産評価審査委員会委員の選任【安城栄三郎氏】
- ・固定資産評価審査委員会委員の選任【戸根俊英氏】
- ・人権擁護委員候補者の推薦【高橋まり子氏】
- ・人権擁護委員候補者の推薦【片野賀津雄氏】
- ・副市長の選任【高橋晃氏】
- ・監査委員の選任【佐藤幸子氏】

### <その他>

- ・動産の取得について
- ・平成28年度胎内市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

### <議員提出議案>

- ・学費と教育条件の公私間格差是正に向けて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書（県）  
【提案者：坂上清一 議員】
- ・学費と教育条件の公私間格差是正に向けて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書（国）  
【提案者：坂上清一 議員】
- ・「全国森林環境税」の創設に関する意見書  
【提案者：坂上清一 議員】
- ・道路整備財源の確保に関する意見書  
【提案者：渡辺秀敏 議員】

※平成28年度各決算の認定については、12ページに記載。

### <選挙管理委員会委員の選挙>

長谷川清二氏（築地）、倉島礼四氏（東牧）、細野隆氏（平木田）、藤井美保子氏（西栄町）が当選

### <選挙管理委員会委員補充員の選挙>

加藤宗俊氏（笹口浜）、須貝建吉郎氏（黒川）、石山政雄氏（あかね町）、南波英生氏（乙）が当選

※全会一致で可決された議案については、議決結果表を省略。

## 平成29年10月1日現在の会派構成

会派名	会長	副会長	幹事長	会計	会員	
政和会	渡辺 俊		天木 義人	小野 徳重	森田 幸衛	森本 将司
志政会とみどりの未来	桐生清太郎	佐藤 陽志	高橋 政実	渡辺 秀敏	榎本 丈雄	
緑風会	渡辺 宏行		薄田 智	八幡 元弘	坂上 清一	
日本共産党	丸山 孝博				羽田野孝子	
公明党	渡辺 栄六					
胎政会	佐藤 武志					

# 常任委員会審査

## 総務文教

### 胎内市鹿ノ俣発電所運営事業特別会計補正予算

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1千38万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億8千438万1千円とするもの。これは、施設の大規模改修等の財政需要に備え、鹿ノ俣発電所運営事業基金への積立金を増額した。

全員異議なく、可決すべきと決定した。



鹿ノ俣発電所

## 厚生環境

### 胎内市国民健康保険事業特別会計補正予算

これは、歳入歳出の総額に2千908万6千円を追加し、総額を38億4千308万6千円とするもの。歳出の主なものは人事異動に伴う人件費を増額したほか、軽減判定誤り等による還付金を増額した。

### 胎内市後期高齢者医療特別会計補正予算

これは、歳入歳出の総額に、37万円を追加し、総額を2億7千27万円とするもの。

### 胎内市介護保険事業特別会計補正予算

これは、歳入歳出の総額に、1億3千510万2千円を追加し、総額を34億3千810万2千円とするもの。歳出として、人事異動等による人件費の増額、介護認定訪問調査員賃金の増額した。また、送迎車運転業務委託料を増額。さらに基金積立金では、今後の給付費の増加に備え介護

給付費準備基金への積立金を増額した。  
**質問** 積立金はどの程度まで積む予定か。

**答弁** 現在、1億7千万円の基金がある。この補正で来年度は対応できると考えている。



### 胎内市黒川診療所運営事業特別会計補正予算

これは、歳入歳出予算の総額から95万2千円を減額し、総額を9千798千円とするもの。

**質問** 今後、継続できる見込みはあるのか。

**答弁** 継続に向け取り組んでいる。しかし医師の確保が難しく、近隣の病院と協議中である。

付託された他1件についても可決すべきと決定した。



黒川診療所

# 産業観光

胎内市地域産業振興特別会計補正予算について

歳入歳出予算にそれぞれ186万5千円を追加し、歳入歳出予算額を4億3千186万5千円とするものである。

胎内市就業改善センター条例及び胎内市農村地域工業導入対策審議会条例の一部を改正する条例について

農村地域工業等導入促進法の一部改正に伴い、同法を引用する各条例の規定の整理を行うものである。

胎内市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部を改正する条例について

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴い、同法を引用する規定の整理を行うものである。

動産の取得について

スキー場のグレンデ整備用圧雪車が老朽化していることから、新たに

車両を取得したもので、制限付き一般競争入札の結果、株大原鉄工所が3千531万6千円で落札したものであり、落札率は94・78%である。

質問 更新する車両は何年使用したのか。また圧雪車の耐用年数は。

答弁 圧雪車は3台保有しているが、当該車両は17年経過しており、耐用年数は概ね10年前後と考えている。

質問 圧雪車の運転業務は毎日点検を実施し特定の人に任せているのか。また同車両をリースしている業者はあるか。

答弁 運転業務に関しては稼働期前に安全運転講習等を受講しており、点検は使用前に始業点検を行っている。圧雪車のリースを行っている業者はある。



グレンデ整備用 圧雪車

全員異議なく可決すべきと決定した。

# まちづくり

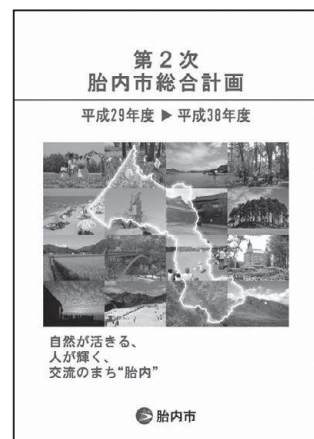
胎内市総合計画策定審議会条例の一部を改正する条例

現在の総合計画策定審議会は、新たな総合計画の基本構想と基本計画の策定についての調査及び審議のみとなっており、計画の変更には対応していない。人口展望や人口減少対策の人口ビジョンと総合戦略についても、今後長期的な効果検証や評価見直しが必要になるため、策定に限定することなく様々な場面で関われるよう規定を変更するものである。それに伴い第1条において名称を胎内市総合計画等審議会とし、これまでより幅広い分野の方に参画していただけるよう第3条において委員の上限を10人から20人に改めるものとする。

質問 第二次総合計画の委員が9名いるが、今後も引き継いでいくのか。また年間の活動回数はどれくらいを考えているのか。

答弁 策定審議会の委員には、これまでの内容を熟知してもらっていることから今後の効果検証も考え、引き続き継続していただきたいと考えている。活動計画については、効果検証をするために1回集まっていたが、計画の見直しが必要というこ

とになればその都度招集していきたい。



平成28年度胎内市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

平成28年度胎内市水道事業会計未処分利益剰余金の4億6千696万1千518円のうち7千144万9千円を減債積立金へ積み立てるもの。

質問 債権を返すための積立金と考えていいのか。

答弁 その通りである。付託された他3件についても可決すべきと決定した。



# 行政視察報告

胎内市議会では、他の自治体の先進的な取り組みや施策を学び、市政に対する施策の提案や行政課題の解決などに反映されるため、行政視察を実施しています。

## 総務文教常任委員会

当委員会では7月10日から三日間行政視察を行った、埼玉県滑川町・千葉県香取市・埼玉県春日部市を訪問した。

滑川町「給食費の無償化」

吉田昇町長の選挙公約だった。保育園、幼稚園、小中学校に通うすべての子供たちを対象としている。現在は財政調整基金の取り崩しで賄っているが今後継続する上で財源が最大の課題であると言う事であった。香取市「防災ステーション川の

駅」

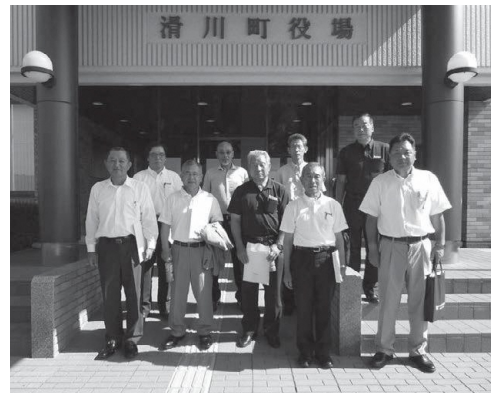
道の駅・川の駅が一体となった施設で、開業前予測来場者数の2倍に達し、開業5年で市のにぎわい県下一位に貢献している。

春日部市「龍Q館・首都圏外郭放水路」

利根川と荒川の大きな川に挟まれた低地帯での浸水被害軽減策の巨大な地下施設で、まさに地下神殿のよ

うな施設であった。

(文責 桐生清太郎)



埼玉県 滑川町役場

## 厚生環境常任委員会

当委員会では、去る7月4日から6日にかけて、東京品川区で廃校になった校舎を複合施設としている事例及び食品ロス削減について先進的に取り組んでいる長野県松本市を視察した。

【ヘルスケアタウン西大井】品川区の旧小学校校舎を活用し、高齢者や就学前の児童が安心していきいきと過ごせ、地域の方々と交流できることを目的とした施設である。

高齢者と児童の交流や、相互の醸成効果は期待される施設であり斬新的事例であると認識した。

【松本市】「残さず食べよう！30・10

運動」を推進し、宴会や会合において乾杯後30分間と、お開きの10分間は席について料理をたのしもうというものである。

松本市は首長はじめ、行政・店舗・客それぞれが同じ意識を共有する取り組みには大きな価値がある。

(文責 渡辺栄六)



ヘルスケアタウン西大井

## 議会運営委員会

議会運営委員会では、7月18日から19日の日程で長野県大町市議会及び駒ヶ根市議会へ常任委員会のあり方など議会運営について視察研修を行った。

大町市は人口約2万8千人で、議員定数は16人、2つの常任委員会と単一の所属形態として少数精鋭による効率的な議会運営を推進している。

次に、駒ヶ根市は人口約3万2千人の自治体で平成27年4月から2常任委員会を3常任委員会に変更し、複数の常任委員会所属を認めることにし、議員は2つの常任委員会に所属することになり、議員任期4年間に全議員が全ての常任委員会を経験することが可能となり活発な委員会活動が展開できるとのことであった。

胎内市議会は、次の市議会議員一般選挙から議員定数が18人から16人に削減となる。今回の視察を参考に、常任委員会構成や運営方法等、色々なメリット、デメリットを把握し、問題提起できる大変有意義な視察研修になったのではないかと感じ

(文責 薄田 智)



長野県 駒ヶ根市役所

議会報編集特別委員会

当委員会では、8月1日から2日にかけて宮城県川崎町及び利府町を訪問した。

両町共に「町村議会報コンテンツ」で優秀な成績を上げていることから、会報づくりの指導を求めた。印象的な指摘事項として、

- ・中・高生でも理解出来る表現でコンパクトに伝える。
- ・議会報が「社会教育材料」となり得る事。

・議会と住民をつなぎ、議会活動を正しく理解してもらう事。

・余白20%、文章40%、見出し写真40%でありたい。余白は伝えたい事を強調出来る効果がある。

・見開き2〜3ページは、タイムリーなトップニュースを入れる。・字数は1問100字程度が望ましい。等で、学ぶべき点が多く、今後の会報づくりに生かしたいと意を新たにしました。

(文責 高橋政実)



宮城県利府町役場

関会中所管事務調査報告

定例会が終了すると常任委員会ごとに、行政が抱えるさまざまな課題や地域の現状などについて、各所管事項について調査を行っています。

総務文教常任委員会

委員会では9月8日大長谷小学校・鼓岡小学校・乙小学校・村松浜小学校・本条幼稚園の旧学校施設5ヶ所について、各担当課長の出席を求め調査を行った。各施設は人口減少・少子化の中で、教育環境の充実を主眼に学校統合が進み、廃校になった施設の現状把握調査であった。

各施設とも概ね管理は行き届いているが、鼓岡小学校体育館では、黒川地区3小学校統合時の不要備品等が大量に収納されている。乙小学校敷地では雑木の繁茂により近隣住居の屋根に迫っているなど改善すべき課題もある。5施設中4施設に各プールがあり、水は張られて無く問題はないが、撤去することにより活用の幅が広がり後の管理面でも効果的ではなどの意見交換を行い、審査を終えた。

(文責 桐生清太郎)

まちづくり常任委員会

7月7日、海岸の浸食状況について海上から視察を行った。

胎内市の海岸約14キロメートルは、冬期間の荒波で浸食が激しく砂山の決壊や崩落、浸食対策工事で整備した後の箇所でも陥没している状況で、場所によっては海岸線に平行している国道まで数メートルのところまで浸食していることから、海岸浸食対策が急がれている。

当日は、松塚漁港から3艇に分乗し沖から被害状況を調査した。はじめに、荒井浜・桃崎浜地区の海岸は、平成12年度に「白砂青松」の指定を受け、新潟県から治山事業(保安林)との連携を図り、自然豊かな利用しやすい海岸づくりが進められている。全体計画では昭和55年度から平成31年度までは49億円の海岸浸食対策事業として、離岸堤39基の設置工事が行われている。しかし、冬期間の浸食が激しく背後護岸が毎年被害を受け、工事が追いつかない印象を受けた。

また、村松浜・中村浜・笹口浜地区は、海水浴場やキス釣りの全国大会などが行われる海岸であり行楽客で賑わう観光地でもあるが、浸食が激しく特に中村浜地区は砂山が大きく崩落している箇所

が確認でき、ここは立ち入り禁止になっている状況である。

さらに、長い海岸線で浸食工事がおこなわれていないのが村松浜地区であり「以前は100メートルもあった砂浜が20メートルにまでなってしまう」という悲惨な報告があった。

離岸堤未整備地区の浸食は著しい状況であった。早急に対策工事に着手し、できるだけ浜辺が回復でき、安全安心の海岸にする必要があることを痛感した。

その他の閉会中所管事務調査

7月14日

・地域おこし協力隊と受け入れ集落の区長と意見交換

・奥胎内ダムの工事進捗状況について

9月22日

・大雨による道路崩落現場の状況について

(文責 丸山孝博)



海岸浸食調査





きのと小学校 6年生  
 ほんだ まな  
**本田 真菜** さん  
 の作品です。



私は、習字をやるのが好きです。学校では、もつすぐ書き初め大会があります。書き初めでは、たくさん練習して、うまく書けるようになっていきたいです。

### 議会報モニターアンケート結果(主なもの)

No.52(平成29年8月10日発行)を見て

#### ◎平成29年第2回定例会の議決結果・討論について (p2~p3)

- ・供託金制度の見直しについての賛否意見の掲載もして欲しかった。

#### ◎一般質問(1) (p4~p13)

- ・質問内容とタイトルが一致していて分かりやすい。前回の改善を活かして頂いたと感じた。

#### ◎常任委員会審査(1) (p14~p15)

- ・特に問題なく、見やすくわかりやすいと思います。

#### ◎閉会中所管事務調査について (p16)

- ・文字がギッシリとなり易いと思うが、内容の変わり目に小さく見出しを付ければ、もっと見易くなると思う。

#### ◎市民と議会の意見交換会について (p18~p19)

- ・市民とは?区長さんが対象であるかと思ひ参加者が少ない。意見交換会の内容が具体的に良かった。意見交換会の内容の回答も知りたいので記載して欲しい。

#### ◎表紙・裏表紙について

- ・表紙の子ども達の笑顔に癒されました。姉妹3人でバスケやっているんですね。頑張ってもらいたいです。

### お知らせ

紙面の刷新をしました。行政視察で学んだ事を会報づくりに生かしました。見易くなるよう余白を意識しての紙面づくりとしました。

(編集委員長)



### 編集後記

寒い日が続いていますが、胎内市に新しく井畑明彦新市長と高橋晃副市長が就任されました。平成29年第3回定例会では、井畑市長の『未来への投資』・『市民との協働』に向けてまちづくりを推進するとの所信表明を受けて、当市議会の各会派から9人の議員が一般質問を行うなど活発な議論が展開されました。

胎内市のまちづくりがさらに明るく輝くものとなるよう、期待しています。

(坂上清一 記)

☎ (0254) 43-6111  
 FAX (0254) 44-7875

T959-2693  
 新潟県胎内市新和町2番10号

印刷/株式会社エンジュ